中国人観光客の誘客に向けた銀聯カードの活用方策

～地域における取組事例、銀聯カードの活用方策～

2012年12月19日・20日

政策研究事業本部　研究開発第2部
主任研究員　長尾尚訓

MUFG 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

目　次

Ⅰ.　長崎浜んまち商店街連合会

Ⅱ.　神戸商工会議所　中国銀聯カード決済サービス

Ⅲ. 沖縄県　銀聯カード利用促進キャンペーン

Ⅳ. 奈良市　中国人観光客受入促進事業補助金

Ⅴ. 北海道観光振興機構

Ⅵ. 京都銀行　ATMでの「中国銀聯カード」の取り扱い

Ⅶ. 銀聯カードの活用

Ⅰ　長崎浜んまち商店街興組合連合会

中国銀聯カード決済サービス

1. 銀聯カード決済サービスの経緯

■ 「長崎ぷらっと」の取組

- 平成13年に、クレジット・デビットカード包括決済事業を立ち上げ
- 平成19年度より、プリペイド型電子マネー「Edy」、ポストペイ型電子マネー「iD」および中国旅行客向け決済サービス「銀聯」に対応した共用端末を順次導入。
- 導入店舗数：約400店舗

【長崎ぷらっとの特徴】

1. 連合会が一括で契約することで、店舗毎の個別導入に比べて、初期費用や運用コストが大幅に削減
2. ほぼ全てのクレジットカードに対応
3. 電子マネーと銀聯に対応したコンパクトな端末（NTTデータの「INFOX-NET」）
4. 店の売上・入金管理などの業務を効率化する「売上集計サービス」が利用可能

出所）月刊地域づくり「中国人客には「銀聯」決済も可能に」等より作成

出所）国土交通省「新・がんばる商店街77選　選定事例一覧」

2. 銀聯カード決済サービスの狙い

■ 銀聯カード決済サービス導入の背景

- 平成18年より中国人観光客を中心とした大型客船が長崎に寄港
- 観光客の買い物は大型ショッピングセンター、百貨店が中心
- 寄港地独自の街並み、他の寄港地では味わえない楽しみの提供

■ 中国人観光客誘致の取組

- 大型バス駐車場の確保
- インフォメーション＆ウェルカムブースの設置、大型看板・シーリング設置
- 通訳ガイド、和風歓迎イベント
- 中国元と米ドルの両替え
- 貨幣持出規制への対応として**銀聯カード決済システム導入**

出所）ながさき旅ネット
「コスタクルーズ　町をあげての大歓迎！」

出所）月刊地域づくり「中国人客には「銀聯」決済も可能に」等より作成

３．銀聯カード決済サービスの利用状況

■中国人観光客の購買が活発化

＜平成20年度＞

- 大型バス21台、約800人の中国人観光客が浜んまちを訪問

＜平成21年度＞

- 合計19回の寄港。大型バス316台、1万2千人以上の中国人観光客が浜んまち商店街等に来街。
- 中国人観光客の購買額は1億円超（銀聯カード決済以外も含む）

＜平成22年度＞

- コスタクルーズ社に加えて、新たにロイヤルカリビアン社のクルーズ船の寄港がはじまり、2社合計で20回来街
- 客船が大型化し、2社合計で約3万7千人の乗客数

■銀聯カードの利用率

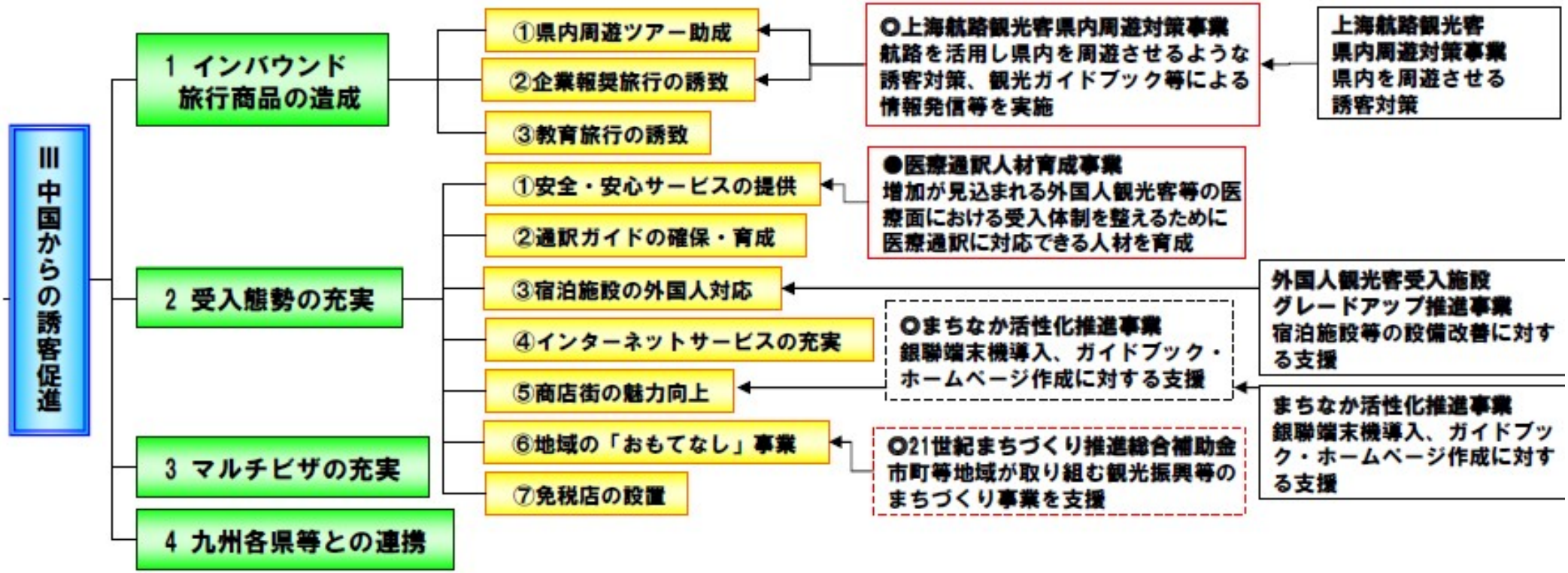
- 中国人観光客の銀聯カード利用率は約3割

出所）月刊地域づくり「中国人客には「銀聯」決済も可能に」等より作成

4. 今後の取組

■ 中国人のニーズに対応した商品、サービス提供

- 中国人が購買する店舗が偏在している。各店舗のマーケティング力強化が課題
- 長崎県としては商店街の魅力向上の方策として銀聯端末導入等を推進



出所）長崎県「アジア・国際戦略」平成24年度行動計画より関係分抜粋

Ⅱ　神戸商工会議所

こうべdeカード　～中国銀聯カード決済サービス

1. 銀聯カード決済サービスの経緯・狙い

■ 「こうべdeカード」の取組

- 神戸商工会議所では、市内小売店・飲食店等を対象に、大規模店舗並みの有利な条件でクレジットカード取扱環境を提供することを目的に、平成15年6月より「こうべdeカード」事業をスタート。
- 実質稼働店舗数：約1,200店舗（中小小売・飲食店が中心、中央区の店舗が6割を占める）

【こうべdeカードのポイント】

1. 格安の加盟店手数料でクレジットカードの取扱が可能
2. 国際5ブランド（Visa・Master・Diners・JCB・AMEX）全てに対応
3. 最新型の決済端末機を無償で貸与
4. カード会社の入金の一本化による、入金管理の手間の軽減
5. オプションで「銀聯カード」「デビットカード」の取扱も可能
6. VJAギフトカードなど、カード会社発行のギフトカードの取扱も可能

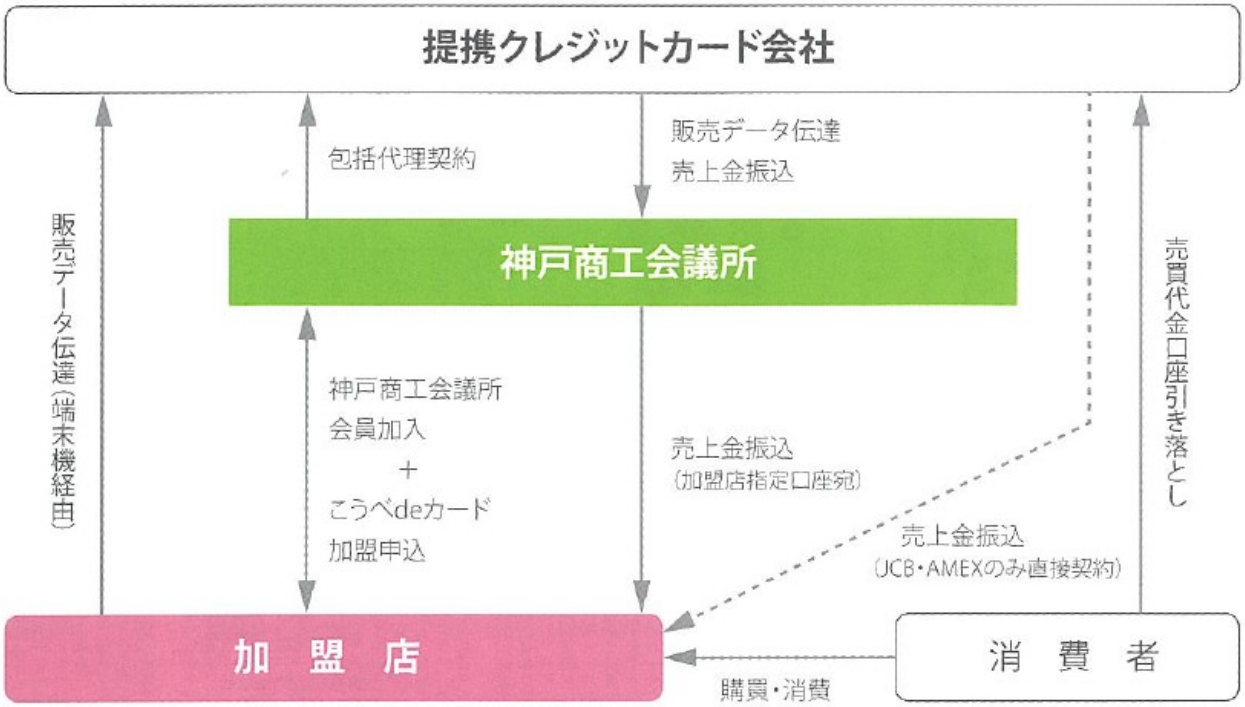
出所）神戸商工会議所「こうべdeカード加盟のお誘い」

1. 銀聯カード決済サービスの経緯・狙い

■ 「こうべdeカード」における「中国銀聯カード」決済サービスの提供開始

- 市内への中国人観光客が増加し、「銀聯カード」での決済のニーズが多いことを受け、
  ⇒「こうべdeカード」における「銀聯カード」の取扱開始

【こうべdeカードの仕組み】



【こうべdeカードにおける既存の取扱カード会社】

＋

【こうべdeカードにオプションとして銀聯カードを追加】

（オプション）中国人旅行客の増加に対応し、中国銀聯（中国の銀行間決済ネットワーク運営会社）に対応している「銀聯カード」（デビットカード・クレジットカード）も取り扱いできます！

出所）神戸商工会議所「こうべdeカード加盟のお誘い」

2. 銀聯カード決済サービスの概要

■ サービスの特徴（加盟店の特典）

- 商工会議所のスケールメリットによる格安の手数料（手数料3.7%）

  ※通常、カード会社と直接契約すると、5～6%程度の手数料率が適用される

- 「クレジットカード」「銀聯カード」取扱機能付き決済端末機のレンタル

  ※端末機は固定費無料で貸与されるが、端末機1台ごとに「銀聯カード」取扱いのための加盟店登録料が必要

  ※サービス開始を記念し、「銀聯スタート・キャンペーン」期間（2012年1月10日～3月13日）」に「先着100店」に限り、加盟店登録料を「税込5,250～10,500円」の特別価格で申込を受付。

■ 提携カード会社

- 4社：三井住友カード、トヨタファイナンス、三菱UFJニコス、ユーシーカード

  ※商工会議所と銀聯の直接契約ではない

■ 対象

- 神戸商工会議所会員であること
- 店舗（小売・飲食等）であること
- 市内に所在すること

※上記に加えクレジットカード会社の審査が必要

コース	端末機の決済機能	キャンペーン特別価格（登録料）	通常価格（登録料）
Aタイプ	① クレジットカード ② 銀聯カード	5，250円 （税込）	~~15，750円~~ （税込）
Bタイプ	① クレジットカード ② 銀聯カード ③ デビットカード	10，500円 （税込）	~~31，500円~~ （税込）

※ 通常、クレジットカード会社と直接契約すると、決済端末機（CAT）の一部～全額（最大７～８万円程度）負担が必要なケースが大半。

出所）神戸商工会議所
「KCCI News Release“中国銀聯カード”決済サービスの提供開始について」

3. 現在の状況

- 銀聯カード加盟店舗数
  - 129店（2012年10月31日現在）←こうべdeカード加盟店の約1割
  - 百貨店や大規模な商店街は自ら銀聯を取扱うカード会社と有利な条件で契約しているケースが多く加盟していない
  - 加盟しているのは、中小の小売・飲食等。神戸空港施設内店舗や神戸港観光船、三宮～元町近辺の飲食店（神戸ビーフ・中華料理など）、小売店（真珠宝飾店・服飾など）が中心
  - 既存のこうべdeカード加盟店が、オプションとして銀聯カードを追加するケースが多い

4. 今後の展開

- 神戸商工会議所のスケールメリット及び信用力等により一定の成果
  - 神戸商工会議所のスケールメリット及び信用力等により、中小小売事業者・飲食事業者に対して、有利な条件で取扱環境を提供可能となっている。
- 銀聯カード取扱店舗のさらなる拡大
  - 日中関係の悪化に伴い、半年前から加盟店が伸び悩み。今後、時期をみてさらに拡大予定。
- 外国人に向けた個店の魅力アップ
  - 必ずしも銀聯カード対応だからお客さんが来てくれるわけではない。良い商品やサービスがあってこそ、銀聯カードの決済環境が活きる。外国人に向けた個店の魅力アップが必要。

Ⅲ.沖縄県

銀聯カード利用促進キャンペーン

（沖縄県「銀聯カード導入効果測定事業」）

1. 事業の経緯・概要

■ 事業の経緯・狙い

- 数次ビザ創設や中国からの直行便の就航等による中国人観光客の増加に対応して、県内観光消費を促進するために、銀聯カードの利用促進キャンペーンを実施。
- アクワイアラー5社を通じて飲食店等約400カ所に銀聯カード決済端末を導入。
- 中国銀聯株式会社と連携して、県内決済端末設置施設約1000店舗が参画するキャンペーンを展開。

■キャンペーンの概要

【期　間】2011年12月15日から2012年2月29日まで

【対　象】期間中の銀聯カード利用客　（5000円以上につき1回抽選くじ）

【参画店】県内銀聯カード決済端末導入施設（約1000店舗）

【抽選会場】DFSギャラリア・沖縄、デパートリウボウ・パレットくもじ、
沖縄アウトレットモールあしびなー、イオン北谷店、
那覇空港（国際線免税店、国内線）

出所）沖縄県銀聯ｶｰﾄﾞ利用促進
ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ「幸运冲绳 银联随行」

1. 事業の概要

■銀聯カード利用促進キャンペーン内容

キャンペーンの目的

沖縄県への中国人観光客を中心とした経済効果拡大を目的としたキャンペーン

銀聯カード利用に対する意識改革と効果

1ヶ月あたり55億円(2011年9月)の消費は、まさにプラチナカードといえる「銀聯カード」。
購買意欲が高い中国人のショッピングでは、銀聯カードが利用できることは受入れ側の鉄則となっている。
本キャンペーンでは県内加盟店全店舗参加型で、県全体で盛り上がることを目標に実施した。

キャンペーン概要

期　間：　2011年12月15日(木)～2012年2月29日(水)
対　象：　期間中の銀聯カード利用客
　　※5,000円以上につき1回(下記参照)
CPN参画店：　銀聯カードが利用できる全店舗対象(県内約1,000店舗)

キャンペーン参画店舗
■レシート受領

5,000円　× 1枚の場合
50,000円× 1枚の場合
500円　×10枚の場合

くじ引き1回チャンス

くじ引き会場
■レシートを持って抽選会場【6箇所】へ

あしびなー　DFSギャラリア・沖縄　那覇空港　国際線　パレットくもじ　イオン北谷店　那覇空港　国内線

スピード三角くじ
■くじを引く

当選アイテム
■その場でもらえるアイテム

A賞：沖縄2泊3日　豪華プレミアムツアー
＊1組　目録

B賞：デジタルカメラ　CANON　IXY
＊12名様　現物渡し

C賞：資生堂　TSUBAKI
オリジナルセット(ミニボトル3本)
＊600名様　現物渡し

D賞：星砂キーチェーン
＊1387名様　現物渡し

出所）沖縄県「銀聯プロモーション」資料

２．銀聯カード決済端末導入経費助成事業の概要

■ 助成事業の経緯・狙い

- 中国人観光客による買い物の利便性向上と消費促進を図るため、沖縄県「銀聯カード導入効果測定事業」の一環として経費助成事業を実施。

■ 助成事業の概要

【対象者】県内の事業者

【補助対象】銀聯カード決済端末設置費用

【補助額】1台あたり上限97,500円

【端末助成申込み先】銀聯カード取扱カード会社５社

【スケジュール】 ９月１６日～　銀聯端末導入経費助成の申込み受付

１０月～１２月　端末設置作業

１０月～３月　　銀聯クーポンブック作成等各種プロモーション展開（運営委託企業）

3. 事業の効果

■ 端末導入経費助成件数

- 平成22年度　100台
- 平成23年度　　383台

■ アンケート結果にみる効果

- 2012年1月1日～2月10日の銀聯カード導入店舗（80端末）の売上は約2100万円
- 内訳：ドラッグストア1300万円（62%）、宝飾・時計290万円、衣料品150万円
- 売れ筋商品：医療薬剤（ドラッグストア）、10万円未満の時計（宝飾・時計店）、古着（衣料品）

■ 成果と課題

- 利用環境の改善によって、県内小売業の売上拡大につながった
- 主要観光施設の他、国際通りなど主要観光地のお店に普及
- カード会社と連携して製作した中国語の沿線マップは人気
- 地場の菓子類や土産品店の端末導入が少ない

4. 今後の展開

- カード会社との連携による中国人の誘客促進
  - 端末の経費助成は23年度で終了
  - カード会社と連携した観光プロモーションを継続的に実施
  - 今年度は、主要観光地の街路等にPOPを設置し、観光客の歓迎ムードを創出

Ⅳ. 奈良市

中国人観光客受入促進事業補助金

（銀聯カード補助金）

1. 銀聯カード補助金導入の経緯・制度の概要

■ 銀聯カード補助金導入の経緯・狙い

- 奈良市においても中国人観光客が増加。中国人観光客は銀聯カードを利用することが多いため、市内での同カードの決済システム導入店舗を増やすことで中国人買い物客の増加を図ることを目的に補助制度を創設。

■ 制度の概要

平成23年度
【対象者】市内の観光施設、宿泊施設、飲食店、小売店。年度中に銀聯カード決済システムを導入する事業者。交付は1事業所につき1回限り
【補助対象】端末機（もしくはアプリケーション）の購入経費、加盟料、工事費
【補助額】対象経費の金額の2分の1（限度額4万円。100円未満切り捨て）

平成24年度
【対象者】同上　　【補助対象】同上
【補助額】平成23年度は補助金の交付は1事業所につき1回限り、複数台の場合でも上限は4万円であったが、平成24年度は複数台の場合は端末機1台ごとに2分の1補助、上限4万円という制度に改正
※ただし大型店舗やタクシー会社等、複数台の設置が必要と判断できる場合に限る。

銀聯カード補助金のご案内

銀聯カードとは、中国銀聯が発行するデビットカードで、訪日する中国人観光者でも利用者が急速に増加しています。奈良市では、中国からの観光客の受入環境を整備するため、市内の店舗・事業所において銀聯カードの取扱いを開始した場合に、同カード決済システムの導入経費の一部を補助する制度を平成２３年度から実施しています。

●補助の対象となる方
市内で観光施設、宿泊施設、飲食店、小売店などを営み、平成24年4月1日以降に銀聯カード新規取扱いをカード会社に申し込み、取扱いを開始した事業者

●補助の対象及び補助される金額
○補助の対象となるもの
・銀聯カード取扱いのための端末機の購入経費、加盟料、工事費
・銀聯カード決済システムのアプリケーションの導入経費、加盟料、工事費
○補助される金額は、補助の対象となる金額の２分の１（限度額は４万円）
※補助金額に１００円未満の端数が生じたときは切り捨て

●申請から補助金振込みまでの流れ
1、市に補助金の交付申請を受け、交付決定通知書を添付または窓口へ持参（事前申請）
2、市から交付決定通知書を受け取った後、事業者が銀聯カード取扱いの申込書をカード会社に提出
3、銀聯カード取り扱い開始
4、事業者が補助金の実績報告・交付請求
※カード会社の領収書等の添付が必要
5、補助金の振込

※注意事項
補助金の交付請求は、平成２５年３月１５日までに行ってください
補助金の総額が予算額（２５０万円）に達した時点で制度終了します

●補助金交付申請の送付先、お問い合わせ先
〒６３０－８５８０
奈良市二条大路南一丁目１－１
奈良市役所観光戦略課
電話　0742-34-4739
FAX　0742-35-6822
メール　kankousenryaku@city.nara.lg.jp

出所）奈良市「銀聯カード補助金のご案内」

2. 現在の状況

■ 補助制度の適用件数

- 平成23年度45件・約100万円、平成24年度（11/22）7件・約150万円。
- 複数台の補助が可能になったため、件数は少ないが金額は増加。
- 1年目に飲食や宿泊は一定導入が図られたためか、2年目はこれらの業種での導入が今のところない。
- 今年度は複数台の補助対応を行ったため、タクシー会社の利用が多い。

【平成23年度】45件、991,800円
（内訳）飲食15、宿泊2、物販27、その他1（美容院）
　　新規28件、アプリ追加17
【平成24年度】（11月22日現在）：7件、1,549,900円
（内訳）飲食0、宿泊0、物販4、その他3（タクシー等）
　　新規6、アプリ追加1

■ 導入の効果

- 今年度は中国人観光客が増えていないため、効果の判断が難しい状況。

4. 今後の展開

■ 補助制度の広報拡大

- 補助予算として250万円準備しているが、現状では適用金額が予算に到達しておらず、今後、さらなる制度活用に向けて広報に努める。

■ 主要観光地における銀聯の導入状況の把握の検討

- 現在、市内の主要観光地（ならまちなど）の店舗における銀聯カードの導入状況について、完全には把握できていない状況。
- 今後、どの程度、補助制度のニーズがあるのかを図る上でも実態把握を検討したい。

■ 補助制度の効果の把握の検討

- 現在、補助制度の効果をヒアリングベースでしか把握できていない。
- 補助制度の必要性を検証していく上でも、導入効果についてきっちりと数値で把握することも検討していきたい。

Ⅴ．北海道観光振興機構

北海道旅遊便利指南

～域内の銀聯利用可能店にかかる無料紹介パンフレットの作成・配布～

1. 北海道旅遊便利指南の経緯・狙い

- 平成22年度からクレジットカード会社と連携したキャンペーンを実施
  - 平成22年度は500円割引、平成23年度は1000円割引のクーポンを配付
  - 平成23年度は札幌市内8店舗、市外3箇所がキャンペーン対象店舗として指定
  - 道内ホテル、国内ランドオペレータ等に配布

- 同じく、平成22年度には「北海道旅遊便利指南」を作成、配布
  - 道内の銀聯カード利用可能店舗を紹介する目的で、「北海道旅遊便利指南」を作成
  - 冊子体のほか、Webサイトも作成
  - 北京、上海、広州の旅行代理店、札幌駅等の道内拠点、道庁等に関連する在中国事務所等に配布

2. 北海道旅遊便利指南の概要

北海道旅遊便利指南

- 北海道庁の予算で北海道観光振興機構が広告会社に委託して作成
- 道内で銀聯カードが利用できる店舗（宿泊施設、飲食店、その他の3区分307施設）を紹介するパンフレット
- 北海道の四季を表す表紙と冒頭の説明からはじまり、人気のある北海道特産品の紹介や北海道5地域（道南、道央、札幌、道北、道東）の地域紹介も掲載
- そのほか、チップは不要であること、順番を守ること、大浴場に着衣で入らないこと等、日本の習慣についての説明も図入りで紹介
- 裏表紙には、代表的な日本語会話を掲載
- 11,000部を印刷し、うち中国現地で9,400部、残りを国内で配布

出所）北海道観光振興機構「北海道旅遊便利指南」

3. 今後の展開について

- 銀聯カード対応は道内では一般化
  - 国内でも銀聯と提携したカード会社が多くなり、中国人が訪問する主要な店舗では対応は一般化
  - ただし、店員が提携の事実を知らず、銀聯カードを出されて混乱することはある模様
- 立ち上げ期の目的は達成し、パンフレット、Webともに役割は終えた
  - 対応店舗数の増加により、すべての店舗を紹介することは困難
  - 情報の更新には費用が必要／Webサイトは閉鎖
  - 銀聯カードは立ち上げの段階から普及段階に進んでおり、行政的な立場からの支援の役割は終了
- 今後の情報提供では情報通信環境の整備とセットにして一層の効果を
  - 今後、同様の情報提供にかかる取組を行う上では、モバイル環境の整備と組み合わせることが大きな効果につながると実感
  - 外国人訪日客は、スマホ等のモバイル環境が得られない、または高額になる場合が多いため、主要な交通拠点や外国人が多く行動する範囲のまちなかwi-fi環境の整備に期待
  - まちなかwi-fi環境の整備によって、旅先でコンテンツを得ることができるようになれば、一層柔軟で効果的な情報提供が可能

Ⅵ. 京都銀行

ATMでの「中国銀聯カード」の取り扱い

1．京都銀行・ATMでの「中国銀聯カード」の取扱　概要

■ 概要

- 地域金融機関で初めて「中国銀聯カード」による「現金のお引出し」、「残高照会」の取り扱いを2012年1月18日より開始。
- NTTデータが新たに地銀共同センター向けに提供する「銀聯接続サービス」を京都銀行がファーストユーザーとして利用

■ 目的

- 国際観光都市である京都の地元銀行として、地元観光産業をはじめ地元経済活動への寄与を期待（地域貢献）
- 平成22年の京都市内に宿泊した中国人観光客は76千人

■ 取扱開始日

- 2012年1月18日試行開始
- 2012年2月1日に京都市内9ヶ所 10台で取り扱いを開始

出所）京都銀行プレスリリース「当行ATMで「中国銀聯カード」の取扱を開始します！」より作成

Ⅷ. 銀聯カードの活用

１．銀聯カードの導入効果

■ 銀聯カードが利用できないため、消費が抑制されている → **機会損失の解消**

- 沖縄観光コンベンションビューロが実施したアンケート結果によると、「銀聯カードが利用できず、購入できなかったもの、体験できなかったことがある」という回答が38％
- 購入できなかったものとして、化粧品・医薬品、菓子類、沖縄産品・観光土産などがあげられている。

■ 観光客は銀聯カードの利用環境が悪いと感じている → **旅行満足度の向上**

- 同アンケート結果によると、沖縄滞在中の銀聯カード利用環境が「悪かった」という回答が67％を占めている。
- その理由として、利用できる店舗、観光地が少なかった（75．9％）、利用できる店舗を事前に知ることができなかった（70．5％）等が指摘されている。

■ 銀聯カードの利用があった店舗では、ついで買いの促進効果がある → **観光消費促進**

銀聯カード端末加盟店へのインタビューによると、次いで買いや買い控え抑制効果の指摘がある。

2. 中国人観光客の誘客への銀聯カードの活用

■ 中国人観光客の消費促進のためには、自治体、カード会社、店舗、旅行代理店が連携して、中国人観光客のニーズに対応した購買インフラを整備することが必要。

自治体	カード会社	店舗	旅行代理店
○中国人観光客への事前プロモーション（誘致活動、キャンペーン） ○銀聯カード利用環境の整備促進（助成制度等） ○銀聯カード利用可能店の宣伝（マップ作成等）	○銀聯カード加盟店の開拓 ○銀聯カードのプロモ[ーション企画（クーポン等）	○中国人購買ニーズに対応した商品展開 従業員の中国語教育 ○銀聯端末の導入、オペレーション ○店頭プロモーションの実施、情報発信	○中国人観光客への事前プロモーション ○銀聯カード加盟店の紹介、誘客 ○観光客へのマップ等の配布